

2009年7月8日

荒高町内会・もりさま祭関連のテレビ取材について（お願い）

報道の現場でのご活躍に敬意を表します。

表記の件について、山口県立大学では、地元商店街との協力のもと、「地域共生演習」の授業の一環として実施しているところです。今年度は、文部科学省の予算による現代GPの支援を受けて、西山正啓監督に依頼してドキュメンタリー作品を作成することとしています。

このとりくみを授業として円滑に実施するとともに、全国に発信する映像作品の質を高めるために、以下のお願いをさせていただきますので、ご高配をたまわれば幸いです。

1. 撮影のために、県立大学学生への声かけをすることは、できるだけ避けてください。とくに、「今のをもう一度」などと要求されることは、やらせにもつながる行為ですから厳に謹んでください。
2. 祭の自然な流れの中で反省会のような場面があり、そこでの参加者の声を収録できる場合を例外として、県立大学学生へのカメラとマイクを突きつけてのインタビューは避けてください。
3. 西山監督の撮影地点のすぐ前に割り込むことがないように、できるだけご配慮ください。

これらのお願いは、いずれも、県立大学の学生および教職員のかかわる部分についてのお願いとご理解ください。なお、この文書の写しは、荒高町内会および、提携する野田学園高校にも届けます。

このお願いについての、ご質問等がありましたら、以下にお寄せください。

〒753-8502

山口市桜島3-2-1 山口県立大学 教授

安溪 遊地（あんけい・ゆうじ）

電話ファックス083-929-0232

メール ankei@fis.ypu.jp